

科目名	教材・授業研究特論 I	担当教員	坂田映子
科目属性	専門科目 A	単位数	2単位
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>【授業の概要】</p> <p>本特論 I では、学習理論、授業デザイン、教授法等の理論的背景及び最近の動向について理解し、各教科等単元及び多様な授業に対応する学習プログラムを構想し、教材開発等を試行する。また、カリキュラム・マネジメントによる授業改善から実践的・専門的力量を高めることを目的とする。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習理論、教授法等の理論的背景及び最近の動向から、理論と実践の両輪による授業の在り方について理解できる。 2. 授業デザインと方法について理解できる 3. 単元及び学習プログラム等の構想ができる。 4. 単元等計画及び教材開発 (P) ・実践 (D) ・評価 (C) ・改善 (A) を通して、実践的・専門的力を高めることができる。 			
<p>【授業計画】</p> <p>第 1 回 学習理論・教授理論と授業</p> <p>第 2 回 学習環境と授業</p> <p>第 3 回 メタ認知・概念学習と授業</p> <p>第 4 回 教材開発と教材研究</p> <p>第 5 回 授業を作り上げる指導過程</p> <p>第 6 回 授業研究(レッスンスタディ)の在り方</p> <p>第 7 回 授業デザインと方法</p> <p>第 8 回 カリキュラム・マネジメントと授業改善</p> <p>第 9 回 授業評価と分析の仕方</p> <p>第 10 回 試行的単元または試行的学習プログラムの構想① (P)</p> <p>第 11 回 試行的単元または試行的学習プログラムの指導法開発② (P)</p> <p>第 12 回 試行的単元または試行的学習プログラムの実践 (D)</p> <p>第 13 回 試行的単元または試行的学習プログラムの評価 (C)</p> <p>第 14 回 試行的単元または試行的学習プログラムの授業改善 (A)</p> <p>第 15 回 まとめ</p>			
<p>【評価方法】 「スクーリング評価」 (25%)、「レポート評価」 (25%)、「科目修得試験」 (50%) による総合評価。</p> <p>レポート (2 本) (50%)、科目修得試験 (50%) による総合評価。</p>			
<p>【教科書】</p> <p>高垣マユミ編著. (2010). 授業デザインの最前線Ⅱー理論と実践を創造する知のプロセス, 北大路書房. ISBN 978-4-7628-2708-2 C3037</p>			
<p>【参考図書】</p> <p>大嶋純・千代西尾祐司 編 (2019) 『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』 北大路書房. ISBN 978-4-7628-3080-8 C3037</p> <p>G. ウィギンズ、J. マクタイ著 (西岡加名恵訳) . (2012). 理解をもたらすカリキュラム設計ー「逆向き設計」の理論と方法, 日本標準. ISBN-10: 4820805576 ISBN-13: 978-4820805571</p>			